



東北地域における 健康経営優良法人取組事例集

2018年2月

東北経済産業局
産業部 商業・流通サービス産業課

健康経営優良法人認定制度について

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

本認定制度は、中小規模の企業や医療法人を対象とした「中小規模法人部門」と、規模の大きい企業や医療法人を対象とした「大規模法人部門」の2つの部門に分け、それぞれの部門で「健康経営優良法人」を認定します。

〈健康経営優良法人2017認定件数〉

	東北	全国
大規模法人部門	2 法人	2 3 5 法人
中小規模法人部門	3 4 法人	3 1 8 法人

【大規模法人部門】



1. [株式会社青森銀行](#) 【青森県】 … 4
～「教養」・「運動」・「食」に着目した施策を展開～
2. [株式会社みちのく銀行](#) 【青森県】 … 5
～行内、家庭内、地域の健康意識の向上を目指す～

【中小規模法人部門】



1. [協同組合青森総合卸センター](#) 【青森県】 … 6
～組合員企業をはじめ、周辺企業や地域住民の健康増進を担う中核的存在～
2. [株式会社野呂建設](#) 【青森県】 … 7
～社長の健康への思いが結果に 喫煙者減少につながる～
3. [株式会社脇川建設工業所](#) 【青森県】 … 8
～福利厚生充実により会社のイメージアップ！人材確保につながる～
4. [株式会社タカヤ](#) 【岩手県】 … 9
～禁煙、運動習慣、コミュニケーション促進で売上げを伸ばす～

5. [株式会社小田島組](#) 【岩手県】 … 10
～この会社で働くことで、いい家庭を築き、いい人生を送る～
6. [宮崎工業株式会社](#) 【宮城県】 … 11
～健康経営の取組で生産性が向上～
7. [秋田海陸運送株式会社](#) 【秋田県】 … 12
～屋外作業中心の社員の健康管理に配慮～
8. [秋田活版印刷株式会社](#) 【秋田県】 … 13
～健康経営で更に魅力ある企業となり人材確保につなげたい～
9. [エイエスエムトランスポート株式会社](#) 【山形県】 … 14
～社員は家族！会社への満足度を高めるために～
10. [ヤマラク運輸株式会社](#) 【山形県】 … 15
～健康経営により社内のコミュニケーションが活性化～
11. [株式会社三本杉ジオテック](#) 【福島県】 … 16
～社員からの提案を健康経営に積極的に導入～
12. [大和電設工業株式会社](#) 【福島県】 … 17
～持続的な健康経営の環境づくり～

— 「教養」・「運動」・「食」に着目した施策を展開 —

◇会社概要

- 代表者：取締役頭取 成田 晋
- 所在地：青森県青森市
- 営業店舗数：本支店・出張所 101
- 従業員数：1,382名
- ホームページ：<http://www.a-bank.jp/>

◇取組の概要

- ・定期健康診断受診率100%
- ・乳がん、胃・大腸がんの受診勧奨及び費用助成
- ・無料歯科健診の実施
- ・建物内分煙（完全分煙・建物内禁煙化を進行中）
- ・禁煙外来や禁煙グッズの購入費助成
- ・所定の研修を履修した次席者を「健康リーダー」に任命し、全部店で健康宣言・健康づくり活動を実施
- ・花王株式会社監修の「スマート和食弁当」を継続的に昼食にとり、健康状態・健康意識の改善を図る食事プログラムを実施
- ・「毎日6,000歩」歩くことを全行的に推奨する他、職員とその家族を対象とするウォーキング活動を実施
- ・時間外労働の削減や、ワークライフバランスの推進等「働き方改革」に向けた取組として、定時前退行の推奨や、自身の退行時刻を宣言するツール等を導入
- ・地域金融機関として健康増進に取り組む企業や従業員を応援するため、金利優遇がある融資制度を設ける

ほか



◇取組のきっかけ

- ・2014年2月、①職員の健康を重要な経営資源のひとつとして位置づけ、健康増進により、組織活力及び生産性の向上を図ること、②**地域の健康増進への積極的な支援**により、青森県の短命県返上に貢献することを目的に「あおぎん健康宣言」を策定。それ以来、職員の健康増進と健康経営に力を入れて取り組んできた。

◇メリット・効果など

- ・全行的に健康意識の高まりが見られるようになった。また、各プログラムの実行により、体重や腹囲等の数値が改善する等、健康状態の改善が見られる職員が増加してきた。
- ・定時前退行等の実施により、早帰り意識が高まった。

◇今後の展望

「働き方改革」や「女性活躍推進」との整合性を取りながら、実効性を上げる取組をしていきたい。

株式会社みちのく銀行

— 行内、家庭内、地域の健康意識の向上を目指す —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役頭取 高田 邦洋
- 従業員数：1,296名
- 国内：本支店94・出張所2、海外：駐在員事務所1
- ホームページ：<http://www.michinokubank.co.jp/>

◇取組の概要

- ・2014年3月に「みちのく銀行健康宣言」を公表
- ・弘前大学と連携して、毎年各支店に1名ヘルサポ・リーダーを養成し、部長・支店長と協働して、部・店内での健康意識の向上を図る
- ・青森県立中央病院の協力を得て、生活習慣の改善が必要な高リスク者から産業医・保健師が指名して、**年1回メディコトリム*を実施**
- ・人間ドックの受診周期の短縮・補助の増額、部長・支店長は受診必須
- ・夫婦Deドック・脳ドック補助、モバイルCT肺がん検診、歯科健診、婦人科検診の実施
- ・全行・全館完全禁煙（建物、敷地、営業車両など）
- ・本店食堂でのヘルシーメニューの提供
- ・各部署にて独自に健康に関する取組を実践
- ・「4分間でできる運動」（タバタ式トレーニング）を推奨
- ・ポーター7（遅くとも19時には退行）
- ・ヘルス・サポート室から月1回健康に関するニュースをイントラで配信
（ほか）



◇取組のきっかけ

- ・健診の有所見率が高い。
- ・精密検査受診率が低迷。
- ・生活習慣病、生活習慣病予備軍が多い。
- ・職員に健康で生き生きと働いてもらいたいという銀行の強い思いがあった。

◇メリット・効果など

- ・精密検査等の受診率は上昇。
- ・喫煙率は減少。

◇今後の展望

- ・ヘルサポ・リーダーの役割の明確化。
- ・禁煙を考えている人への取組の検討。
- ・有所見率の減少。

*メディコトリム：医療（メディカル）の力をかりて身体（体調）を整える（トリム）こと。みちのく銀行の場合は、一定の基準に該当する職員を指名し、1泊2日の合宿形式で健康に関する講義、栄養・運動の個別指導を実施。

協同組合青森総合卸センター

一 組合員企業をはじめ、周辺企業や地域住民の健康増進を担う中核的存在 一

◇組合概要

- 代表者：理事長 西 秀記
- 所在地：青森県青森市
- 組合員数：141社
- 従業員数：約2,200名
- 事業内容：協同組合事業（高度化事業、環境事業ほか）
- ホームページ：<http://www.tonyamachi.com/>

◇取組の概要

- ・ 集団定期健康診断の実施
（組合員企業はもとより周辺企業も参加）
- ・ インフルエンザ集団予防接種
- ・ 健やか隊員（健康づくりリーダー）育成研修
- ・ 健康づくり実践塾（2ヶ月に1回開催）
- ・ 健康セミナー（組合員昼食会）の開催
- ・ 各種健康調査の実施
- ・ 健やかLetter（健康情報）の発行
- ・ 健康関連情報の掲示
- ・ FAXによる健康情報配信（年10回程度）
- ・ 健康づくり活動（ハイキング、ボルダリング等）ほか

◇取組のきっかけ

- ・ 従業員を健康にすることによる生産性の向上
- ・ 会社の重要な経営資源である人財を守る
- ・ 人口減少社会の雇用対策として、既存社員が長く勤務するためには健康が不可欠
- ・ 青森県や青森市の短命県・短命市を返上したい



◇メリット・効果など

- ・ 組合員企業の健康経営に対する関心が高まった。
- ・ 組合員企業が実際に健康経営に取り組み、健康宣言の実施、市や県の認定を受けた。
- ・ 健康事業を積極的に行っていることにより組合（団地）の認知度が高まった。
- ・ 組合員以外の周辺企業や地域住民にも健診や予防接種を開放することによる地域貢献。

◇今後の展望

- ・ 組合員企業に対し、健康経営への取組や国県市認定を促進
- ・ 健康事業の拡充

— 社長の健康への思いが結果に 喫煙者減少につながる —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 野呂 佳代子
- 所在地：青森県つがる市
- 従業員数：16名
- 事業内容：土木工事業、とび・土工工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、
産業廃棄物収集・運搬
- ホームページ：<http://www.noroken.co.jp/>

◇取組の概要

- ・健康診断受診率、定期・二次ともに100%
- ・事務所内禁煙
- ・要精密検査対象者への受診勧奨
- ・特定保健指導を事業所内で勤務時間内に実施
- ・年に3回程度開催する講習会の中で安全に加え健康に関する教育を実施
- ・こころの健康づくり対策の実施
- ・朝食摂取率の向上を目的に全従業員を対象に「**朝食アンケート**」を実施後、毎月健康レシピ・健康情報を配布
- ・従業員に「健康管理手帳」を配布し、定期的な血圧測定、体重測定の実施を周知、勧奨（手帳は定期的に回収し事業所で集計）
- ・職場復帰支援プログラムの実施 ほか



◇取組のきっかけ

- ・現社長は、2003年に社長に就任。市の食生活推進員をしていた経験を活かし、何かできないかと考えた末、職種柄これまで気を付けていた「安全」に加え、「健康」についても力を入れて取り組むことにした。

◇メリット・効果など

- ・従業員の健康に対する意識向上
- ・受動喫煙を無くし、快適な職場づくりに繋がった
- ・新聞・ラジオ等のPR機会・問い合わせの増加
- ・優良事業所としての評価と責任を感じるようになった

◇今後の展望

- ・年休取得率の向上
- ・感染予防対策
- ・健康教育推進の継続
- ・健康手帳を毎日付けた人に特典を検討

ー 福利厚生充実により会社のイメージアップ！人材確保につながる ー

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 脇川 勇生
- 所在地：青森県西津軽郡深浦町
- 従業員数：56名
- 事業内容：総合建設業
- ホームページ：
<http://www.wakikawakensetsu.co.jp/>



◇取組の概要

- ・定期健康診断、生活習慣病予防健診受診率100%
- ・生活習慣病予防健診の費用を全額事業所が負担
- ・相談しやすい環境づくりと年1回のストレスチェック
- ・敷地内全面禁煙
- ・禁煙外来の自己負担額の半額を助成
(深浦町で禁煙外来の費用の半分を助成しているため、従業員が町民であれば自己負担なし)
- ・毎朝のラジオ体操の実施
- ・運動する機会の提供（ボウリング大会の開催、マラソン大会への参加、スポーツジムの法人会員などかかる費用は会社負担）ほか

◇メリット・効果など

- ・従業員の健康に対する意識が高くなった。
- ・禁煙を始めやすい環境の整備と、健康に関する外部講習会への参加の効果があり、現場トップの従業員（絶対禁煙をしなそうな人）が、禁煙外来の受診を決意。各現場に同士を募り集団で受診した結果、12名中11名が禁煙に成功し喫煙率が減少した（2016年実績。2017年は3名が禁煙に成功。）。
- ・健康経営のほかプレミアムフライデーも実施しており、ニュースや新聞で取り上げられたことで、会社のイメージがアップし、求人説明会の参加者も増え、採用につながった。

◇取組のきっかけ

- ・健診を受けたことにより従業員の重い病気が発見されたことや、体調不良を訴える従業員が長期休暇を取ったことなどをきっかけに健康増進活動を始めた。
- ・福利厚生に力を入れて、建設業のイメージを良くしたいという考えも取組の目的としてあった。

◇今後の展望

- ・昼食は外食、出前が多いため食生活の指導が課題。町主催の講習会等を活用し、正しい知識の習得に取り組む。
- ・とりあえずやってみようという姿勢で取り組んでいく。それができるのが中小企業の強みである。

— 禁煙、運動習慣、コミュニケーション促進で売上げを伸ばす —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 望月 郁夫
- 所在地：岩手県盛岡市
- 従業員数：255名
- 事業内容：総合建設業（土木・建築工事請負業）
- ホームページ：<http://takaya-net.jp/>

◇取組の概要

- ・健康診断受診率、定期100%、二次99%
- ・40歳以上は一定額まで会社負担で人間ドック受診
- ・新規採用は禁煙が条件、喫煙者は役員登用しない、年2回の禁煙手当など、**強力な禁煙運動を展開**
- ・早池峰登山、花巻イーハトーブマラソン参加、野球・バスケットボール同好会等**運動習慣の定着促進**
- ・毎週金曜日は17時の定時業務終了、18時消灯の**ノー残業デー**、**プレミアムフライデー**、リフレッシュ休暇も実施
- ・一人当たり毎月一定額を会社が負担する**コミュ会**で、**インフォーマルコミュニケーションを促進**、2年に一度の社員旅行で、本社・支店が交流
- ・食生活改善の一環として、ショールームを兼ねた本社で、週1回ランチタイムに地元農家と提携したサラダバーを実施 ほか



◇取組のきっかけ

- ・2002年から約10年ほど経営が厳しい時期があり、それを乗り切った後に社員の福利厚生に目を向けた。
- ・心筋梗塞で倒れたことからまず社長が禁煙。

◇メリット・効果など

- ・経営が厳しい時でも、新規採用は継続していたが、技術系は努力しないと厳しい。健康経営を推進することで、**会社の見え方が変わってきた**。
- ・プレミアムフライデーの実施をきっかけに時間単位の休暇を導入。有給休暇取得率が上昇した。
- ・人材育成、ダイバーシティ、地域貢献にも併せて取り組み、**売上げは数年前の5倍**に。

◇今後の展望

- ・完全週休2日制実施に向けて、仕事のやり方を変えていく。
- ・コミュ会の料理のメニューの見直し等も検討中。

株式会社小田島組

— この会社で働くことで、いい家庭を築き、いい人生を送る —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 小田島 直樹
- 所在地：岩手県北上市
- 従業員数：93名
- 事業内容：道路改良工事、舗装工事等
- ホームページ：<http://www.odashima.co.jp/>

◇取組の概要

- ・健康診断受診率は、定期・二次ともに100%
- ・有所見で再受診しなければ始末書
- ・**健診で異常がなければ手当を支給**
- ・保健指導を受けて目標体重を達成できない場合、反省文、始末書を提出。始末書2枚で賞与半減。半期でリセット
- ・賞与支給日に体脂肪率を測定し、男性30%、女性40%超で賞与見合わせ
- ・建物内、敷地内完全禁煙
- ・**年1回一般社員、管理職それぞれ、禁煙者全員に手当を支給**
- ・一人当たりの月平均の残業時間は2時間
- ・1、3、15分間スピーチで、**社長の前でも本音を言う**ことを大事にしている
- ・食生活と運動については、部署毎に半年に一度計画を作って取り組んでいる

ほか



◇取組のきっかけ

- ・2010年頃新規採用者と接した社長が、従来の価値観と違ってきていることを感じた。
- ・同じ頃、すい炎、糖尿病、腎炎から透析と3人の社員が立て続けに病気となり、社長が社員の幸せと健康について強く意識、社員の健康は会社の財産と考えた。

◇メリット・効果など

- ・有給休暇取得率71%。
- ・高ストレス者の割合が低い。
- ・社員の「気づき」につながっている。
- ・**労働市場、社員の家族の判断基準になる。**

◇今後の展望

- ・社長と社員とのコミュニケーションの取り方を更に工夫する。

宮崎工業株式会社

製造業

— 健康経営の取組で生産性が向上 —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 加藤 賢一
- 所在地：宮城県加美郡加美町
- 従業員数：220名
- 事業内容：オイルシールの製造
- ホームページ：<http://miyazaki-ind.jp/>

◇取組の概要

- ・健診受診率、二次健診受診率ともに100%
 - ・施設内完全分煙
 - ・喫煙時間の設定（午前1時間、午後1時間）
 - ・計画年休の実施（上期と下期に2日ずつ）
 - ・多能工を育成
 - ・血圧計の設置
 - ・ストレスチェックを年2回実施
 - ・メンタルヘルス研修の実施
 - ・朝礼時に食生活に関する講義を実施
 - ・インフルエンザ予防接種を会社で実施
- ほか

◇取組のきっかけ

- ・経営理念の1つに、「愛情と信頼に基づく人間尊重経営」を掲げており、2015年11月の安全衛生優良企業認定をきっかけに、力を入れて健康経営に取り組んできた。



◇メリット・効果など

- ・健康経営の取組は採用にも良い影響が出始めている。
- ・多能工を育成することで、**有給取得率の向上**、生産ラインの人員を柔軟に調整できることで**時間外労働の減少**に繋がった。
- ・社員が定年まで健康でいることが、社員やその家族にとっても望ましい。退職後も家庭に地域に活躍する方が今以上に出てくれば、もっと地域が元気になると考え取り組んでいる。

◇今後の展望

- ・禁煙については、社内で反発もあるが2019年までに**就業時間禁煙**にしたいと考えている。
- ・完全週休2日制の実施に向けて、徐々に勤務日数を減らしている。

秋田海陸運送株式会社

— 屋外作業中心の社員の健康管理に配慮 —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 西宮 公平
- 所在地：秋田県秋田市
- 従業員数：197名
- 事業内容：港湾運送事業、通関業、倉庫業等
- ホームページ：<http://www.kairiku.co.jp/>

◇取組の概要

- ・定期健康診断受診率100%
- ・**二次健康診断受診の勧奨と受診の有無の確認**
- ・半期に一度所属長と面談
- ・ストレスチェックの実施
- ・衛生管理者や健診で所見があった人の研修受講
- ・事業場休憩所へ体重計と血圧計の設置
- ・建物内に喫煙室を設置して分煙
- ・禁煙外来のある医院と連携して、禁煙について啓発
- ・食生活に関する啓発パンフ配布
- ・**自動販売機の商品を特定保健用食品に変更**
- ・**残業が多い場合は所属長が個別面談**
- ・私傷病による特別休暇の創設
- ・育児休業取得は女性100%、男性1名の取得実績あり
- ・育児のための短時間勤務制度あり

ほか



◇取組のきっかけ

- ・全国健康保険協会秋田支部の「事業所健康診断」を受けた結果、血圧、腹囲等メタボリスクがすべて平均を上回る数値だった。

◇メリット・効果など

- ・二次健診対象者の減少。
- ・社員が健康管理に取り組む動機づけになった。

◇今後の展望

- ・本社出入りの仕出し業者と専用のヘルシーメニューを開発中。
- ・禁煙対策の強化。
- ・ストレスチェック受診率を上げる。

秋田活版印刷株式会社

製造業

— 健康経営で更に魅力ある企業となり人材確保につなげたい —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 畠山 紀夫
- 所在地：秋田県秋田市
- 従業員数：50名
- 事業内容：印刷業
- ホームページ：<http://www.kappan.co.jp/>

◇取組の概要

- ・定期健康診断受診率100%
- ・ストレスチェック全員実施
- ・**受動喫煙防止宣言施設秋田県第1号**（建物内全面禁煙、社用車内でも禁煙）
- ・毎週水曜日、全社禁煙デー
- ・掲示板で食生活改善に関する情報提供
- ・毎日15時～体操
- ・法制化前から育児休業制度を導入し、男性の取得も推進
- ・**時間単位で取れる有給休暇を創設** ほか

◇取組のきっかけ

- ・これまでも取り組んできたが、全国健康保険協会秋田支部からの勧めで「健康経営」を意識。



◇メリット・効果など

- ・喫煙率20%→16%
- ・健康経営優良法人のマークを入れた名刺は、会社の信用、宣伝になる。首都圏や中京地区では「健康経営」が浸透している。
- ・人材確保にもつながる。

◇今後の展望

- ・健康経営優良法人認定を受けた頃は、秋田県の企業や行政の健康経営に対する意識は他県に比べて低かった。取組を講演等で紹介することで、健康経営の認識を県内に広め、健康経営に取り組む企業や優良法人の認定を受ける企業を増やしたい。
- ・健康経営の取組の広がりの中で、行政や金融機関によるインセンティブとなるような制度の創設につながることを期待。

エイエスエムトランスポート株式会社

運輸業

— 社員は家族！会社への満足度を高めるために —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 工藤 亜紀子
- 所在地：山形県酒田市
- 従業員数：68名
- 事業内容：一般貨物自動車運送業ほか
- ホームページ：<http://asmtp.co.jp/>

◇取組の概要

- ・定期健康診断、特定健康診査・特定保健指導受診率100%
- ・ストレスチェックは2016年から開始
- ・ウォーターサーバーを設置し、糖分の含まれる飲料などの代わりに水を飲むことを推奨
- ・ゴルフ場の法人会員となり運動機会を提供
- ・社内の一室をトレーニングルームとし、健康器具などを設置
- ・事務所・ドライバー待機室は禁煙
- ・月1回の全員参加のドライバー会議で提供している食事に**プラスワンで健康に関する食材・料理**を組み合わせ
- ・トレーニングルームを有効活用のため、また**健康増進の成果に応じた報酬提供**のため、体脂肪減+筋肉増での賞金制度を導入
（ほか）



◇取組のきっかけ

- ・社員を家族のように大事にする社長であり、健康への気遣いもその一端。会社への満足度を高めていこうという思いがある。
- ・人気のない職種のため、イメージアップのための看板として健康経営優良法人認定を取得。

◇メリット・効果など

- ・社内の意識向上につながった。健康診断の結果もお互いに見せ合い、気にし合うような雰囲気ができ、コミュニケーションも増えた。
- ・近隣工業団地の委員会内で健康に係る取組紹介をしたところ、**食品会社で健康経営に取り組みたいと意欲を示す企業**が出てきた。

◇今後の展望

- ・会社への満足度を高めるため、新しい取組を積極的に考案・実施し、従業員の定着率を高めたい。

ヤマラク運輸株式会社

運輸業

— 健康経営により社内のコミュニケーションが活性化 —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 原田 陽一
- 所在地：山形県西置賜郡白鷹町
- 従業員数：57名
- 事業内容：生乳運搬、飼料運搬、海上コンテナ輸送
- ホームページ：<http://www.e-yamaraku.co.jp/>

◇取組の概要

- ・定期健康診断、特定健康診査・特定保健指導（定期健診日に併せて実施）受診率100%
- ・本社と営業所に体重計・血圧計を設置し、体重・血圧の継続測定プログラムなどを実施
- ・年2回の健康セミナーの実施
- ・建物内完全分煙
- ・朝礼時ラジオ体操の実施
- ・健康掲示板
- ・全国的に認知される前から、**睡眠時無呼吸症候群の検査を会社負担で実施**（ほか）

◇取組のきっかけ

- ・酪農協同組合の子会社として発足し、生乳や牛のえさの運搬を主要な業務としているため、365日休みがない。そのため、社員の健康管理は極めて重要と認識している。
- ・過去に、社員の健康問題に端を発する事故を起こしたことがあり、そのことも健康経営を進めるきっかけである。



◇メリット・効果など

- ・ドライバーにとって重要な体調について社員自らが気をつけるようになった（健康意識の向上）。
- ・「健康」をキーワードとして、**社内のコミュニケーションが活性化**した。
- ・事業計画の第一が「無事故・安全」。**健康経営の認定は社員全員に向けた本気度の証**に。

◇今後の展望

- ・**55歳以上のドライバーを対象に、脳ドック受診料の助成を実施**（高額であるため、中小企業には経費負担がネック）。
- ・この業界においては、人材不足は永遠の課題。継続的な雇用・長期就労による人材確保が重要。これまで健康セミナー、適塩弁当の試食、歯科検診等を実施しているが、今後も社員参加型の健康イベントの開催を考えている。

株式会社三本杉ジオテック

建設業

— 社員からの提案を健康経営に積極的に導入 —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役 三本杉 裕
- 所在地：福島県福島市
- 従業員数：15名
- 事業内容：建設コンサルタント業、地質調査業、測量業、さく井工事業、土壌汚染調査業
- ホームページ：<http://www.sanbonsugi-geotec.co.jp/>

◇取組の概要

- ・定期健康診断受診率100%
- ・二次健診の受診勧奨（結果報告書を社長に提出）
- ・全国健康保険協会福島支部の保健師・管理栄養士による個別指導
- ・年1回体力測定実施（握力・背筋力・肺活量の測定）
- ・血圧計・体重計の設置と計測勧奨
- ・社内完全禁煙
- ・会社負担でインフルエンザ予防接種を実施
- ・空きスペースに卓球台を設置、年1回卓球大会も開催
ほか

◇取組のきっかけ

- ・社員は人財、**健康であれば仕事もはかどる**という考えのもと、前社長の代から健康経営を行ってきた。
- ・社員数15名という少数精鋭の体制のため、一人一人の健康状態が業務遂行に大きく影響する。



◇効果・メリットなど

- ・健康事業所宣言等で会社として健康増進に取り組んでいることを示すことで、個々の社員の意識も向上。
- ・先代のころから長年健康経営を行っていたため、現在では**社員からの提案による取組が多い**。現在の**社長も健康経営に前向き**なため、その提案を実際の取組として導入できる環境が整っている。

◇今後の展望

- ・今年からストレスチェック、メンタルヘルスの対応を始めた。今後拡充も検討。
- ・運動不足解消のため、現在椅子代わりにバランスボールを試用中。今後希望者を対象に導入予定。

大和電設工業株式会社

建設業

— 持続的な健康経営の環境づくり —

◇会社概要

- 代表者：代表取締役社長 松崎 則行
- 所在地：福島県いわき市
- 従業員数：34名
- 事業内容：電気設備工事の設計・施工

◇取組の概要

- ・定期健康診断受診率100%
- ・事務室内禁煙
- ・血圧計、体重計を休憩所に設置し、体重もメモできる「血圧手帳」を配布
- ・自動販売機のメニューを糖分の多いものから低カロリー飲料・特定保健用食品に変更
- ・一般財団法人いわき市勤労者福祉センターと法人契約を結び、運動等の機会を提供（ほか）

◇取組のきっかけ

- ・高所作業が多いため、高血圧など健康状態・体調によっては仕事を行うことができない。また、体力のある仕事のため、食事が高カロリー気味で特定健康診査で所見のある者も多い。このような事情から社員の健康面には気をつける必要があり、2015年に健康事業所宣言をする前から健康経営に取り組んできた。



◇メリット・効果など

- ・健康経営を行うことで健康に関する告知文も増え、社員の自覚を促すきっかけになり、各自が健康に気をつけるようになった。
- ・健康経営宣言等、社内の取組を対外的に発信することで、関係各所からの健康経営に関連する情報提供なども増加し、それが更なる取組につながっている。

◇今後の展望

- ・2018年は分煙ボックスを設置予定。また、年次有給休暇取得率を上げる取組を行う。
- ・健康経営を担当する後継者を育成中。まず一通りの環境を整備し、次代でも継続して健康経営に取り組む考え。これからも積極的に継続していく。